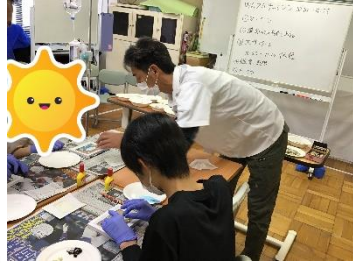




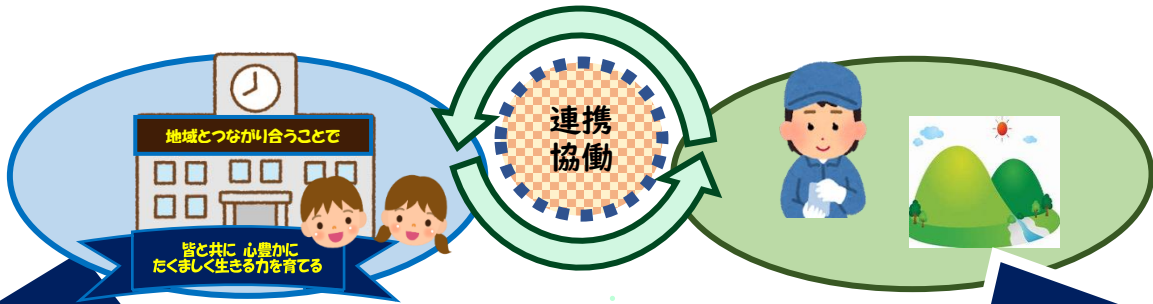
地域と『つながり合う』授業実践

I 地域交流 「WAZA チャレンジ教室」

実践グループ：きらら学級（院内学級）



静岡県タイル煉瓦工事協会技能士会から3名の技能士の方々に来校していただき、タイルを使ったモザイクアートの授業を実施しました。技能士の方の話をよく聞いて、子供たちは色や形を工夫して配置し、それぞれの好きな物や愛する風景をモザイクアートで表現しました。また、間近で技能士の方々の技を見ることができ、タイルや煉瓦関係の仕事について理解を深めることができました。



児童生徒にとっての価値

- ・素材の良さ、魅力に気づき、工夫して作品を作る
- ・制作やデザインのよさを味わう
- ・外部の人や一緒に作る友だちとコミュニケーションをする

地域にとっての価値

- ・学齢期から技能・技術への関心を高め、その大切さを知る機会を提供できる
- ・ものづくり県としての発展を担う人材の確保・育成につなげる

『つながり合う』POINT！（地域支援連携課から）

今回のつながり合うポイントは「外部講師（プロ）に教わったことによる学びの広がり」です。病院内では大がかりな制作活動は難しく、また、人とのかわりも制限があります。そうした中で、外部の方に教わる機会を設けることで知識や技能を学べるだけでなく、人とのかわりを通し作品をつくることができました。また、プロの手が加わることでクオリティの高い作品ができあがり生徒たちの感動につながる価値があると考えます。